

# 「北のみち普請寄合」開催される



■日時／平成16年7月20日(火) 14時～17時  
 ■会場／ホテルポールスター札幌

## 講演1 「私たちの地域づくり」

地域があるから今(私)がある

(有)アールズセミナー代表取締役(元北海道副知事)

佐々木 亮子氏

## 講演2 「くにづくりとみちづくり」

(独)国民生活センター理事長(元経済企画事務次官)

糠谷 真平氏

主催／北のみち普請を育てる会

(財)北海道道路管理技術センター

後援／北海道開発局、北海道、札幌市

朝日新聞北海道支社、北海道新聞社

毎日新聞北海道支社、読売新聞北海道支社

当日は、主催者代表としてセンターの木元喬之理事長・育てる会会長小林英嗣氏から挨拶の後、事務局より、みち普請やシニク・バイウェイ他についての活動報告があり、引き続き講演会が行われました。

民間から北海道副知事就任という前歴を持つ佐々木亮子氏が「私たちの地域づくり」をテーマに、人材育成の専門家としての立場から、地域づくりのための経営観・仕事観・人間観について、エピソードも豊富に交えながら熱弁。リーダーシップとは、自分が相手に影響力を持つことと指摘。人を動かす要素として①地位 ②専門能力(知識・技術) ③人間的魅力(利他性・和申厳) ④自己の存在証明(責任感や誇り、情熱)を挙げました。リーダーシップの手段となるコミュニケーションでも①自分とのコミュニケーション(自己肯定) ②自らの働きかけ ③相手を尊重する、の三つを挙げて「自分を受け入れてもらうためには、嫌いな人間を受け入れるのもリーダーシップの本質」と述べました。最後に佐々木氏が事務局を努める※「カルチャーナイト2004」について紹介し、北のみち普請活動がそうであるように、地域に根ざして大切に育

北海道にふさわしい、誇りを持てる道づくりを…。地域住民が参加し行政との連携による「北のみち普請」活動は、今年4年目を迎えます。今回のフォーラムは、今後の活動の方向性を確認する意味も含め、「地域づくり、人づくり」に奔走され、実践されておられる二人のオピニオン・リーダーを迎えて、去る7月20日、全道から約320名が参加してホテルポールスター札幌で開催されました。



(有)アールズセミナー代表取締役  
(元北海道副知事)

佐々木 亮子氏  
(ささき りょうこ)

1946年札幌市生まれ。北海道大学法学部卒業後、民間企業を経て、(有)アールズセミナー設立。2002年北海道副知事就任。翌年退任後、アールズセミナーの事業を再開し、教育事業などのコンサルタントを行っている。



(独)国民生活センター理事長  
(元経済企画事務次官)

糠谷 真平氏  
(ぬかや しんぺい)

1941年東京都生まれ。東京大学教養学部教養学科卒業後、経済企画庁勤務を振り出しに、国土庁計画・調整局長、経済企画事務次官などを歴任。趣味は、汽車の旅を愉しみ、当地で温泉に入って日本酒を味わうこととか。

てていきたいと結びました。

また、国土庁計画・調整局長、経済企画事務次官などを歴任した糠谷真平国民生活センター理事長が、「くにづくりとみちづくり」と題して講演。20世紀の常識が通用しない、21世紀の時代の変化を具体例を挙げながら述べた後、21世紀は、既存ストックを活用して世代間、地域間、国際間の連携・連帯のもとに「百年先を見据えて人口6千万人時代の国土の展望を描くことが急務」であることを強調。さらにインフラ整備に関しては、新規投資の選択と集中、既存ストックの活用維持が重要なのは言うまでもないが、経済効率だけが全てではない、とも述べました。さらに、人口の少ない所をどう結ぶかも課題で、そのためにもみち普請等の活動に期待するところが大きいと結び、国の基本計画に長年携わってきた糠谷氏ならではの先見の内容に、会場ではメモを取る姿も見られました。

※普段は入れない札幌市内の施設など42か所を夜間解放し、大人も子供も楽しめる今年で2回目の、夏の一夜のイベント